

WinDLCalc V2.0

赤外線撮影用時間計算アプリ
カタログ



WinDLCalc V2.0

バージョン 1.00

Copyright © 2009-2013
株式会社 新潟エデット

特 徴

本アプリケーション（以下、本APと表す）は、構造物を赤外線映像装置を用いて外壁調査を行う際に、構造物の位置（住所）および傾き（南面を0として東西のどちらに振っているか）、調査を行う予定の日のみの情報で、赤外線映像装置にて撮影する最適な時間帯を簡単に表示させることができます。

これにより、赤外線映像装置を用いた構造物調査をより正確に行う事が可能となります。

留 意 点

本APを使用する際には、以下の点にご注意下さい。

- 区市町村により緯度・経度が表示されますが、各区市町村の役所（役場）の所在地となっており、調査を行う建物の場所とは若干ことなる場合があります。
- 現在の区市町村データは2014年現在のものであり、2014年以降に合併された区市町村は反映されておられません。
- 本APのデータは太陽の向きおよび傾きを基にデータを算出しておりますが、大気のちり・ほこりによる太陽熱の減少は考慮されておられません。

使用イメージ

2016年6月10日に、東京ビックサイトの外壁調査を行う予定と仮定する。

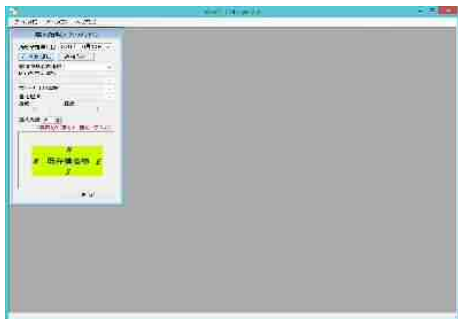
調査地の建物角度を調べる



※この地図は、国土地理院標準地図を使用。

調査対象の建造物の角度や住所 調べる日にちなみ事前に決めときましょう

アプリの起動



このようなウィンドウが出てくる

基本情報入力ウィンドウ

撮影予定年月日 2016年 6月10日

データ選択 直接入力

都道府県名選択

区市町村名選択

大字・町丁目選択

番地選択

緯度 経度

建物角度 0

(真南を0、東を+、西を-で入力)

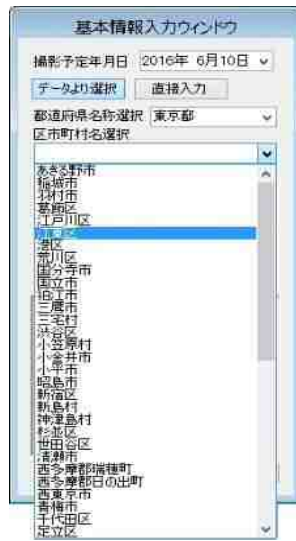
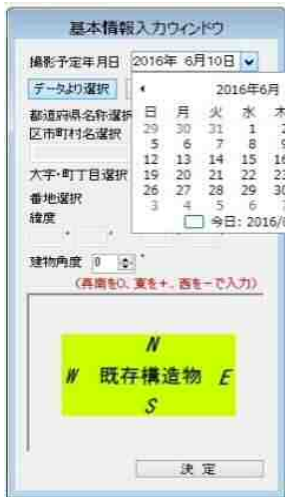
N
W 既存構造物 E
S

決定

調査日や、住所などの情報を入力してください

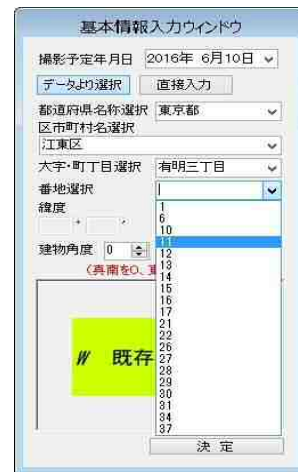
使用イメージ

日付 場所 建物角度の選択

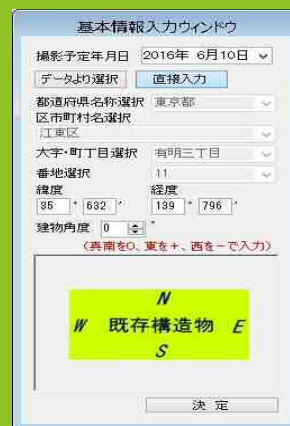
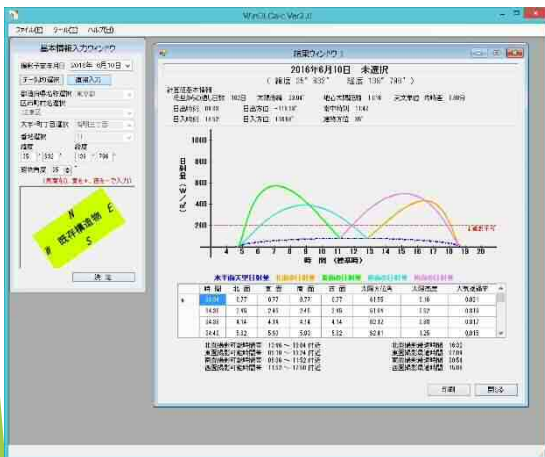


入力する情報は3つ
地図より、建物(南面)
の傾きを測定します。
ツールに情報を入力し
ます。

- 調査予定日
- 住所もしくは緯度経度
- 建物の角度



緯度 経度の直接入力



システムの動作環境

対応OS : Windows 2000 Service Pack 3以上

WindowsXP Service Pack 1以上

CPU : PentiumⅢ 2.0GHz同等以上

メモリ : 256MByte以上

<お問合せ先>

株式会社 新潟ユデット

〒352-0004 埼玉県新座市大和田4-18-45

TEL:048-478-9912 FAX:048-478-9909

E-Mail:info@niigata-udit.co.jp